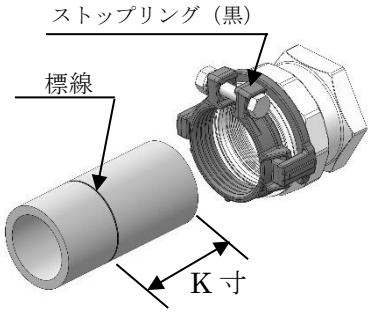
SKX－50（キャップ当て締めタイプ）

SKX® 施工手順［配管用ステンレス鋼管（SUS）用］

①パイプ挿入量記入

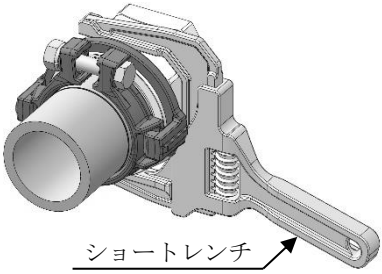
パイプ挿入量(K寸)を測り、**標線**を記入して下さい。
分解せずにそのまま**標線**まで挿し込んで下さい。



注1）・パイプ切断のカエリは取り除いて下さい。
・滑剤の塗布は不要です。
・管止めがある場合は、管止めから3mm以上あけて施工して下さい。

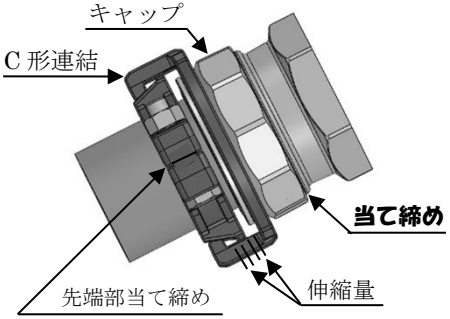
②キャップ本締め

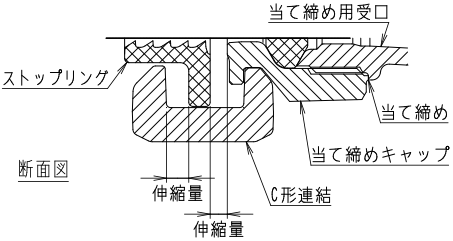
標線とストップリングの端面を合わせた状態で、キャップを手締めしてパイプを固定した後、ショートレンチで**キャップを当て締めして下さい**。



③ストップリング本締め

C形連結を管中心方向に**押えながら、ストップリングを締めやすい位置にして下さい**。
両端に伸縮量を保った状態で、**ストップリング先端部を当て締めして下さい**。





注 2)ストップリングは当て締め後、さらに締め付けると破損など不具合が生じることがあります。
注 3)管とストップリングが直角になるように締め付けて下さい。
注 4)再施工時は「施工ハンドブック」を参照して下さい。

④接合完了

キャップとストップリングの**締め忘れを確認**して下さい。

≪管の取り外し≫

・ストップリング締付ボルト・ナットとキャップを**緩めるだけ**で管と**分離可能(分解不要)**です。

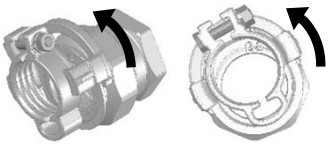
管呼び径	SR呼び径（黒）	キャップ呼び径	本体呼び径	K (mm) ＋10/－0	キャップ（参考締付トルク N･m）		ストップリング（参考締付トルク N･m）		六角対辺
50	50	G50	50	75	当て締め	(60)	当て締め	(35)	17

注）パイプエンドの場合、K寸は＋5／－0です。

SKXストップリング（SR）交換手順

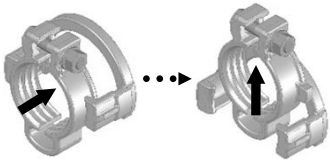
①C形連結取り外し

C形連結の一方を支点とし、他方をプライヤー等で回し、取り外して下さい。



②ストップリング取り外し

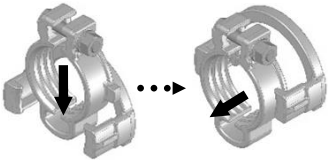
SRとC形連結を合わせ、SRを上方向に抜いて下さい。



③ストップリング交換

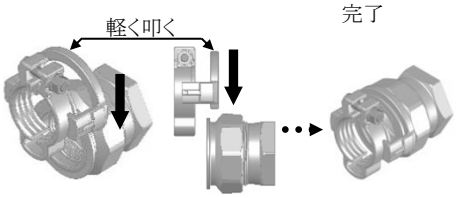
適用管用SRとC形連結を合わせ、SRを下方向に入れ、C形連結から離して下さい。

※下図のように、ボルト・ナットを上にして、向きが逆にならないように注意して下さい。



④C形連結取付

C形連結をキャップの外溝に合わせて、C形連結上部を木槌等で軽く叩いて入れます。



(株)川西水道機器 TEL 087-805-0001（施工コールセンター）
FAX 087-877-2801

2023.07.07